



氣田 量子
(自民公明クラブ)

肺炎球菌ワクチン接種 個別再通知の充実を

接種率の推移を見て判断

議員 成人用肺炎球菌

ワクチンについて、当市では六十五歳以上から五歳刻みで対象者に個別通知を行っているが、高齢のために詳しい制度を知らなかったり、うっかりして一生に一度の公費助成のチャンス逃している方もいる。医療費の大きな削減にもつながるが、再通知しないか。

健康福祉部長 高齢者対象の肺炎球菌ワクチンの予防接種は本人が希望する場合に接種しており、法律上では積極的な接種勧奨にならないよう留意することとされています。今年度は四月に対象者へ通知するとともに広報誌にも掲載しましたが、周知方法については今後接種率の推移を見ながら判断したいと考えています。

議員 ロタウイルスは

乳幼児を中心に感染すると言われており、ほとんどの子供が感染する。インフルエンザ同様、保育園等が長期に休むことになり、親が仕事を休まなければならぬ状況が懸念される。任意のワクチン接種は高額で、若い子育て世代には負担になるので公費助成が必要では。

健康福祉部長 ロタウイルスワクチン接種については、今後県内の公費助成の状況や市内の医療機関での接種状況などを調査したいと考えています。

健康福祉部長 マスキング効果のある設備については、対応する職員と第三者の距離が三メートル以上離れていないと効果が得られない場合があることなどから、現状での設置は難しいと考えています。相談者のさらなる

プライバシー保護に十分配慮するとともに、今後新庁舎建設に当たつての庁内検討委員会に提案したいと考えています。

議員 市役所新館一階の窓口では、隣の窓口の会話が聞こえることから、

プライバシー重視、安心重視の観点から、やり取りが漏れないマスキング音を流してはどうか。



プライバシー保護の徹底を

新渡戸記念館 今後の方向性は

市民等の意見を伺い 総合的に判断



山 端 博
(かけはし)

議員 新渡戸記念館の耐震診断結果をめぐるこれまでの経緯について。

市長 公共施設の耐震診断の一環として、昨年度新渡戸記念館の耐震診断を行った結果、コンクリート強度が極端に低く、補強の方法もない状態であり、大地震に対して危険な状態にあることが判明



廃館が決まった新渡戸記念館

しました。これにより、入館者の身の安全と保存展示している資料の保全を最優先とするため、四月一日からの休館と六月三十日での指定管理取り消しについて関係者と協議を進めることにしました。指定管理者の太素顕彰会は六月末での指定管理取り消しに同意していただき

ましたが、新渡戸家側では市の説明に対し納得していただけておりません。その後、五月末にも耐震診断の状況や展示、保存されている資料の取り扱い、称徳館への一時的な保管展示など市の考え方を説明しましたが、理解を得られていない状況です。

議員 来館者の安全や資料の保管を考えると廃館もやむを得ないと考えるが、今後の方向性は。

市長 新渡戸家三代にわたる三本木原開拓の資料や開拓精神、新渡戸稲造博士の資料などを継承するための新たな施設の整備の必要性は十分認識しています。今年度から二カ年かけて策定する予定の公共施設等総合管理計画の中で議員や市民のご意見を伺いながら総合的に検討し、策定したいと考えています。

議員 複式学級を採用している小中学校の現状は。

教育長 現在、小学校八校、中学校二校が複式学級です。複式解消のための統廃合は児童生徒数の推移などを考慮するとともに、学校運営や教育機能が効率的に発揮でき、行事の一部を合同で実施できるような校舎一体型の小中併置校や小中一貫校なども検討したいと考えています。